

く考えた色彩の使い方をしないと、最も大事なことから注意がそれ、教師が意図している内容は握がされないでしまうことがある。

ウ 教師から学習者への一方通行にならないようにする。

OHPの板書代りの使用は、板書時間のロスがはぶける。同じTPでいくつものクラスの指導ができる。板書はその都度消してしまわなければならないが、TPは、いつまでも残しておけるなど、いくつもの利点がある。しかし、学習者の考えを引き出しながら、1字1字書きながらまとめていく板書と異なり、教師の準備していたことを一方的に伝える結果になりやすい。

エ 提示過多や、情報過多にならないようにする。

OHPを用いた資料の提示は簡便であるために、ともすれば、長時間連続的に使われる傾向がある。こうした傾向は、目に悪いばかりでなく、視覚教材にかたよった学習になり、教材・教具を最適に用いた学習からかけ離れてしまう。またTPは、教材内容をよく吟味し、圧縮整理したものが多く、1枚のTPの中にもかなり多くの情報がもり込まれやすい。

このようなTPが次々と提示されると、学習者の理解や思考の速度と一致しなくなる危険性をもっている。

#### (4) OHPとTPの管理

OHPやTPに限らず、一般備品管理にも当てはまることであるが、次のようなことに心がけたいものである。

- よい機材を十分なだけ備えること。
- 利用しやすい管理運営システムにすること。
- いつでも使えるように整備しておくこと。

##### ① OHPの管理

###### ア OHPの選び方

最近では、どのメーカーも数多くの機種を出している。したがって、OHPの選定に当たっては、各メーカーのそれぞれの機種について検討して選定しなければならない。また、OHPの故障も皆無ではないから、その際にサービスが保障される販売業者であることも大切な要件である。

#### OHP選定の要件

##### 性能的要件

1. 画面は明るい（明るさ、むら、色）
2. 映像は明りょうか（解像力、むら）
3. 拡大率は適当か

##### 機能的要件

1. ステージ面積は適当か
2. 温度上昇を防げるか
3. じょうぶで長もちするか
4. 仰角は満足できるか
5. どのようなアダプターの使用ができるか
6. 騒音や振動が少ないか
7. 操作はしやすいか
8. 持ち運びが便利であるか